

# きょうとう No.7

## 地域全体で広がりのある地域学校協働活動を目指して！

津山教育事務所では、学校からの要望で地域が学校を「支援」する『学校支援地域本部』から、学校のパートナーとして「連携・協働」する『地域学校協働本部』へ意識改革を図るため、学校と地域をつなぐ役割を担う「地域学校協働活動推進員」の委嘱を推進しています。

今回は、地域と学校が「連携・協働」するために「何か必要なのか?」「学校運営協議会(CS)のあり方は?」など、その体制づくりのヒント等、多くの「気づき」や「学び」を得た、地域学校協働活動研修会について紹介します。

**11/12 開催** 地域学校協働活動研修会（後期）

～今こそ「支援」から「連携・協働」へ～

キーワードは  
**「共有」**

地域と学校の連携・協働は、これからの「学校づくり」「地域づくり」に欠かせません。

その第一歩として、まず、「地域と学校それぞれの実態」や「子どもたちへの思い」、「地域や学校の将来」等について語り合い、共有しましょう。

現状として、地域学校協働活動や推進員の関わりが、「学校支援」中心になっているのであれば、そこから子ども達と地域住民とをしっかりとつなげてはどうでしょう。そのつながりが地域へと広げられ、地域主体の地域学校協働活動の充実にもつながることができます。

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの関係を整理できました。各取組や活動のねらいを明確にし、地域の方と共有し、役割分担をしていきます。まずは、今ある活動をより児童が主体的になるように。（教職員）



グループ協議①  
【地域学校協働活動の実践交流】

現在の実践と今後の充実アイデアを書き出し、「学校の活動」と「地域の活動」に分類しながら交流。

コロナ禍で中止になったり規模が縮小されたりしたものがあるが継続したい。こんな時だからこそ地域学校協働活動が担う役割は大きいと思います。（推進員）



グループ協議②  
【地域学校協働活動の実践交流】

教職員と地域学校協働活動推進員等の地域住民が、今後の地域学校協働活動充実に向けて、「今、何ができるか」について活発に協議。

学校の活動も大切ですが、もっと地域の活動に目を向ける必要があると感じました。（教職員）



全体交流①  
【地域学校協働活動の充実アイデア】

「地域めぐりウォーキング」、「子どもと地域住民の地域の魅力交流会」等、公民館との連携や子どもが地域の大人と話す場を提案。

学校と地域が共に学ぶ場、今後もあるとよいと思います。（推進員・教職員）

ボランティア同士のつながりを広げていきたいです。（推進員）



全体交流②  
【地域学校協働活動の充実アイデア】

「新体力付補助」、「地域の祭りに参画」等、子どもの意欲向上につながる活動を提案。

【講師】 国立教育政策研究所  
社会教育実践研究センター  
社会教育調査官 石津 峰氏

「何もしないボランティア（発表会で聴くだけ等）」「トークフォークダンス（生徒と地域の方との交流の場）」「ウォークラリー」等、事例が参考になりました。（推進員・教職員）

研修会をとおして、「地域学校協働活動とコミュニティスクールの関係」や「地域学校協働活動推進員の役割」等について再確認するとともに、「学校支援」中心となりがちな地域学校協働活動の現状に気づき、今後、地域と学校の連携・協働のもと広がりのある実践を行うことが、より充実した地域学校協働活動につながることを学ぶことができました。

地域学校協働活動推進員や学校ボランティア等の地域住民、学校教職員等、一人一人がつながり合い、地域ぐるみで子どもの育ちを支える「地域づくり」「学校づくり」を行っていきましょう。

【問合せ先】 津山教育事務所生涯学習課 0868-24-8703